

ガザ4日間戦闘中断

人質と囚人交換合意

【カイロ＝秋山豊】イスラエルを実効支配しているハマスは22日、ハマスが人質としている子どもと女性50人の解放と引き換えに、イスラエルが投獄しているパレスチナ人の子どもと女性150人を解放するため、4日間の戦闘の中止で合意しました。

22日、イスラエル軍の空爆で煙があがるガザ（ロイター）

イスラエルとハマスの間の交渉を、米国とエジプトとともに仲介してきたカタールも合意を発表。カタールは「中断の開始時間は24時間以内に発表される」としています。

イスラエル政府は約240人が人質にされたとみています。ハマスがこれまでに解放したのは4人。イスラエル政府はハマスが追加

で人質10人を解放すると、物資を積んだトラック数百台がガザ全域に入ることも認めています。またガザに対する対し、ハマスに人質を解放させるよう求めてきました。

一方、カタールの衛星テレビ局アルジャジーラによると、イスラエルにいるパレスチナ人は800人を超えていました。

ハマスによると、合意は000人を超えていました。一方、北部では「一日あたり6時間停止されます。

ガザを南北に横くサラハデイン通りにおける人びとの移動の自由が保障されると、イスラエルにいたわらず、航空交通は南部で中断されています。一方、北部では「一日あたり6時間停止されます。」と述べました。

ハマスは「複雑で困難な交渉の末に合意に達した」としつつ、「われわれの指揮官は引き金にかかったままだ。わが軍勢はパレスチナ人を攻撃するために警戒を続ける」と述べました。

→関連5面

イスラエルのネタニヤフ首相はハマスを壊滅させ、ハマスを全員解放する目標を達成するため、中断が終わったら後で戦争を開戦する意を表明しています。